# 直営施設

# 公の施設基本情報

施設名 (愛称) 砂川厚生福祉センター 担当部・課 福祉部 障がい福祉室 ・グループ 地域生活支援課 地域生活推進グループ

# 1. 施設の概要(令和5年4月1日時点)

根拠条例・規則名	大阪府立砂川厚:	生福祉センタ	マー条例 大阪府	立砂川厚生福祉セ	ンター規則 大阪	页府立砂川厚生福 <b>社</b>	止センター処務規程		
	障がい者が、	その有する	る能力及び適性	に応じ、自立し	た日常生活又は	は社会生活が営	むことができるよ		
条例等に規定された設置目的							い者福祉の増進を		
	図る。	3/2   7	- / (//////////////////////////////////		1227	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
開設年月日(経過年数)		10日(R5	<b>5.4.1</b> 現在経過年	数61年)					
[改築・大規模改修等の実施年度]	[大規模改修:	平成21	年度~23年度	実施]					
所在地等	〒590−0	〒590-0525 泉南市馬場3-1566 <b>TEL</b> 072-482-2881							
敷地面積(敷地所有者)	145, 86	1 4 5, 8 6 2 ㎡(大阪府)							
建物規模(施設構造)	障がい者支援	施設2施記	设(鉄筋コンク	リート造 <b>2</b> 階建、	鉄筋コンクリ	ート造平屋建)			
延床面積(建物所有者)	17, 375	㎡(大阪A	府) *廃止	した施設面積を	含む				
主な施設内容		○障がい者支援施設 いぶき(40名)、つばさ(30名) ○管理棟、給食センター、生活訓練棟ほか							
	合	計 			財源内訳				
施設建設時の財源内訳	不明	億円	地方債 億円	国 <u>庫</u> 億	その他	一 一般 億円	財源 億円		
	【 <b>R5</b> 】 府直宫		尼  ]	尼	1 1	IS 1 1	応  ]		
管理運営形態	(【R4】同_								
施設で実施している主な事業	人材育成・支	援体制構築	//· (—/Aa /////	3 2144 33033 12 13	支援事業、施設	<b>设入所支援事業</b>	、短期入所事業		
開館日・開館時間	入所施設利用	者には、-	-年を通じてサ	ービスを提供					
	年度	Ę	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		定員	40 人	40 人	40 人	40 人	40 人		
	いぶき	利用者数	40 人	40 人	40 人	40 人	40 人		
		延べ 利用者数	14,600 人	14,419 人	14,478 人	14,450 人	14,357 人		
		定員	30 人	30 人	30 人	30 人	30 人		
入所者数	つばさ	利用者数	28 人	29 人	29 人	26 人	26 人		
※在籍者数は各年度末利用者数	710.0	延べ 利用者数	10,284 人	9,278 人	10,552 人	10,190 人	9,306 人		
		定員	70 人	70 人	70 人	70 人	70 人		
	<b>∧</b> = I	利用者数	68 人	68 人	69 人	66 人	66 人		
	合計	延べ利用	94 994	99.007	95 020	04.040	99.009		
		者数①	24,884 人	23,697 人	25,030 人	24,640 人	23,663 人		
	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	しいぶき	±	100.0%	98.8%	99.2%	99.0%	98.3%		
施設運営に関する指標	つばる	ž	93.9%	84.7%	96.4%	93.1%	85.0%		
(稼働率、利用率等)	合計		97.4%	92.7%	98.0%	96.4%	92.6%		
	利用率:延べ利用者数÷1日あたり定員÷365日								

# 2. 料金体系(令和5年4月1日時点)

料金区分	利用目的による区分:なし		
料金水準の考え方	障害者総合支援法に基づく		
主な料金	·古自秘ロ乂仮広に差り、		

3. 施設運営に係る収支 ※単位未満は四捨五入としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。(以下すべての表も同様)

<b>=</b> 7	■大阪村の予事 (千円)								
区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
府	施設使用料	96,924	103,041	106,828	103,759	100,603			
収	行政財産目的外使用料	0	0	0	0	0			
	雑入	31,114	31,102	29,815	33,518	34,892			
入	合 計	128,038	134,143	136,643	137,277	135,495			
	施設管理費	79,387	78,000	99,597	93,090	89,993			
府	人件費	24,458	27,412	30,108	30,757	31,723			
支	事業費	52,159	52,219	50,711	50,864	51,550			
出	その他法人	0	0	0	0	0			
	合 計	156,004	157,631	180,416	174,711	173,266			
府費	<b>[</b> 負担(府支出-府収入)	27,966	23,488	43,773	37,434	37,771			
府支	出(補修費)	5,839	6,650	39,953	45,990	29,459			

### 備考欄

特になし

### ■大阪府の決算

区分	対照表		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円) <b>令和4年度</b>
	I 流動	資産	0	0	0	0	0
		現金預金等	0	0	0	0	0
		未収金	0	0	0	0	0
		不納欠損等引当金	0	0	0	0	0
		短期貸付金	0	0	0	0	0
		その他流動資産	0	0	0	0	0
	Ⅱ固定	資産	1,611,581	1,538,188	1,462,766	1,407,027	1,353,182
資		土地	246,533	246,533	246,533	246,533	246,533
産		建物	1,270,435	1,205,219	1,137,723	1,089,572	1,043,195
の		工作物・立木竹・浮標等	94,118	86,179	78,491	70,922	63,454
部		地上権	0	0	0	0	0
HIP		重要物品	495	257	20	0	0
		リース資産・ソフトウェア等	0	0	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	0	0
		出資金	0	0	0	0	0
		長期貸付金	0	0	0	0	0
		基金	0	0	0	0	0
		資産合計	1,611,581	1,538,188	1,462,766	1,407,027	1,353,182
4	Ⅰ 流動	負債	227,830	154,530	250,763	328,344	83,466
負		地方债	166,412	90,706	186,301	268,459	21,368
債		賞与等引当金	61,418	63,823	64,462	59,884	62,098
及		リース債務	0	0	0	0	0
び		その他流動負債	0	0	0	0	0
純	Ⅱ固定		1,292,415	1,335,018	1,176,868	1,001,359	991,662
		地方債	519,979	554,573	396,533	291,853	312,907
資		退職手当引当金	772,436	780,444	780,336	709,505	678,755
産		リース債務	0	0	0	0	0
の		負債合計 ②	1,520,245	1,489,547	1,427,631	1,329,702	1,075,128
部	純資産		91,336	48,641	35,135	77,324	278,054
	負債及	び純資産の合計	1,611,581	1,538,188	1,462,766	1,407,027	1,353,182
府民	引人あが	とり負債額 (②/府人口)	172円	169円	162円	150円	122円
			1 3	_ 501 5	- 321 3	-3013	-2213

※府人口は国勢調査に基づいている 平成29年度-令和元年度

平成27年度調査 8,839,469人

令和2年度~令和4年度

令和2年度調査 8,837,685人

# ■大阪府の決算

**行政コスト計算書** (千円)

区分	, — <u> </u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	行政収	入	358,610	363,290	382,273	370,014	370,007
		分担金及び負担金	0	0	0	0	0
		使用料及び手数料	326,464	329,093	345,439	331,565	331,154
		国庫支出金	0	0	0	0	0
		財産収入	218	137	187	77	55
_		寄附金・繰入金	0	0	0	0	0
府		その他行政収入	31,928	34,061	36,647	38,372	38,799
収	金融収	入	0	0	0	0	0
入		受取利息及び配当金	0	0	0	0	0
	特別収	入	0	0	0	0	0
		分担金及び負担金	0	0	0	0	0
		国庫支出金	0	0	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0	0	0
		その他特別収入	0	0	0	0	0
		計 A	358,610	363,290	382,273	370,014	370,007
	行政費	用③	1,038,959	1,071,097	1,063,503	985,218	1,047,391
		給与関係費	719,943	739,419	736,675	713,620	730,065
		物件費	73,667	73,336	74,583	89,525	78,478
		維持補修費	37,583	36,792	35,750	36,034	46,916
		社会保障扶助費	3,945	3,926	4,101	3,954	3,818
		負担金・補助金・交付金等	3,485	5,768	2,941	5,282	3,292
_		国直轄事業負担金	0	0	0	0	0
府		繰出金	0	0	0	0	0
支		減価償却費	77,217	77,020	75,422	75,012	75,286
出		各種引当金繰入額	123,119	134,837	134,032	61,792	109,536
		その他行政費用	0	0	0	0	0
	金融費	0	6,415	5,707	5,038	4,043	1,796
		地方債利息・手数料	6,415	5,707	5,038	4,043	1,796
	特別費		0	0	0	20	0
		固定資産売却損・除却損	0	0	0	20	0
		その他特別費用	0	0	0	0	0
		計 B	1,045,374	1,076,804	1,068,541	989,281	1,049,187
	<b>C</b> (	-	▲ 686,764	<b>▲</b> 713,514	▲ 686,268	<b>▲</b> 619,267	<b>▲</b> 679,180
		配分調整額 D ⑤	606,858	629,707	610,316	638,935	653,872
調整	後収支	E(C+D)	<b>▲</b> 79,906	▲ 83,807	<b>▲</b> 75,952	19,668	▲ 25,308

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人あたり	40.010	45 441 TI	49.000	40.140III	44 000E
通常費用額 { (③+④) /①}	42,010円	45,441円	42,690円	40,149円	44,339円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人あたり	94 997III	90 E79III	94 999TI	95 091 III	97 C99III
一般財源等配分調整額 (5/1)	24,387円	26,573円	24,383円	25,931円	27,633円

# 備考欄

特になし

# 4. 施設職員数

施設職員数(4月1日時点)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数		113人	106人	105人	107人	105人
	常勤	109人	104人	103人	104人	102人
	非常勤	4人	2人	2人	3人	3人

# 5. 主な代替・類似施設

Ė	土	ı –	+-	1
-	7	レ	14	lν

6. 利用者の満足原	<b>E調査</b>					
調査実施	あり	実施時期	通年		対象者数	70人
調査手法	査を実施した。 <つばさ>		いけて、利用者の後 はによる聞き取り調	会見人及び家族を対象に面 日本を実施した。	可談による聞き取り	リとアンケート調
調査結果	全は、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定で	答目も頃たか頃雍等 対い 同 利には1がが、目時」目護報 、は に 者の応いの対満多員告 職、 、 かてでいたです。 からを見か会を 負利 コーらほき	なかった要と、してする。 としロナグなと、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	において満足度75~99%は、家族の状態の変化や配偶で手渡しできず送付となる議の際に、直接意見や要支援が行えているか」(満足度の比較の表別して、一方満足度の比較のでは、次き通信」にて利用者家が総務企画課職員)が面接方についてどう感じているのできるようにのいるのの要望し、総務企画課等と連携し、るように取り組んでいる。	国会や帰省が実施では、 は、安全を関すりのでは、 は、安全を関すりのでは、 は、安全を関すりのでは、 は、安全のでは、 は、安全のでは、 は、でのでは、 は、でのでは、 は、でのでは、 は、でのでは、 は、でのでは、 は、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	ままられる。ア 最状態の変化や怪いては、「整容が その結果につい 令和5年3月に第 を行った。 よく変更してい のし、調査を行っ にいた。 した。 した。